

「ジャポニスム」

文化とアイデンティティについての考え

チャリヤ： それぞれの文化は、日本人が何であるかについて違った見解を持っているようです。

大樹： (笑いながら) ほとんどの日本人自身は自分が何であるかなんて知っていません。

バーレーティ： 「自己」を静的に定義しようとする試みはすべて失敗するだろう。

アンイ： もちろん！しかし、人々が鏡を見つめ、いわゆる「国家的特徴」を想像するのを止めません。

バーレーティ： おそらく、我々の「アイデンティティ」に対する文法的な解釈自体が間違っているのでしょう。実際に、「自己」は名詞ではなく、動詞であると思いませんか？「自己」というものではなくて、反復的な「自己生成」のみがあるからです。

アンイ： それって、ロバート・ピアシグが言おうとしていたことではないですか？

チャリヤ： ピルシグ？

アンイ： あの『禅とバイクメンテナンスの技術』ってヤツだね。

大樹： でも、私はオートバイを持っていません。

バーレーティ： そして、私は禅の精神を持っていません。

アンイ： とにかく、言う価値のあることはすべて既に述べていました。

チャリヤ： ああ。

- T Newfields (和訳: テレサ)

開始: 2000 年 名古屋市 ★・完成: 2019 年 横浜市

